



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年7月31日

上場会社名 東り株式会社
コード番号 7971 URL <https://www.toli.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 06-6494-6691

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	22,294	8.0	534		651		391	
2023年3月期第1四半期	20,651	5.1	120		45		67	

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 960百万円 (%) 2023年3月期第1四半期 22百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	6.50	
2023年3月期第1四半期	1.13	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	81,761	41,248	50.1
2023年3月期	84,791	40,894	47.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 40,971百万円 2023年3月期 40,613百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		10.00	10.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)		3.00		8.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,500	6.4	700		800		500		8.31
通期	99,500	4.5	3,600	1.9	3,900	7.1	2,650	3.4	44.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	66,829,249 株	2023年3月期	66,829,249 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	6,643,208 株	2023年3月期	6,642,988 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	60,186,146 株	2023年3月期1Q	60,223,490 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、入国者の水際対策の解除や新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行等により、国内経済は緩やかな回復基調となりました。一方で、円安とウクライナ情勢の長期化に起因する原材料高やエネルギーコストの上昇等により、さらなる物価上昇に見舞われるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの事業と関連性の深い建設業界では、訪日客数の回復により店舗・宿泊施設等のリニューアル市場で復調の兆しが見られるものの、各種建築資材の高騰による建設投資の冷え込みへの懸念など、事業環境は予断を許さない状況となっております。

このような状況の下、当社グループは長期ビジョン<TOLI VISION 2030>の実現に向けて、2021年度から2024年度を対象期間とする中期経営計画『SHINKA Plus ONE』で掲げる5つの重点戦略(A. コア事業の強靱化、B. 伸びしろ事業の成長拡大、C. 第5事業の創造、D. グループ横断機能の強化、E. 成長を支える経営基盤の構築)を推進しております。当期につきましては、2022年9月に実施しました第3次販売価格改定の浸透を図るとともに、広化東リフロア新3号ラインの本格稼働やタイルカーペット用ナイロン原糸の内製化拡充、タイルカーペトリサイクルプラントによるリサイクル率向上等の製造原価低減に注力し、安定供給体制の構築と収益改善に努めました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高22,294百万円(前年同期比8.0%増)、営業利益534百万円(前年同期 営業損失120百万円)、経常利益651百万円(前年同期 経常損失45百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益391百万円(前年同期 同四半期純損失67百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、セグメント間の取引を含めて表示しております。

<プロダクト事業>

プロダクト事業におきましては、販売価格改定の浸透が進んだことに加え、前期発売商品のプロモーション効果により売上高を伸ばしました。ビニル系床材では、高機能商品のビニル床シート「消臭NSトワレ」や「ヒトエ」等が好調に推移したことに加え、ワックスメンテナンスが長期間不要なビニル床タイル「イークリンNW-EX」等を収録した「タイルコレクション」を中心として販売活動に注力いたしました。また、ビニル床タイルとセラミックタイルの長所を兼ね備えた新・第3の床材「タフテックタイル」が店舗市場を中心に採用が進むなど、ビニル系床材の売上高は前年を大きく上回りました。

カーペットでは、市場ニーズにマッチした昨年発売の環境配慮型タイルカーペット「GA-3600 サスティブバック」が好調に推移しました。一方で、住宅向けタイルカーペットは巣ごもり需要の衣服感により弱含みで推移しましたが、販売価格改定効果によりカーペット全体の売上高は前年を上回りました。

壁装材では、当社独自商品の不燃化粧仕上げ材「リアルデコ」やビニル壁紙「不燃認定壁紙」が好調に推移したことに加え、販売価格の改定が浸透したことにより、売上高は前年を上回りました。

カーテンでは、「えらべるって、楽しい！」をコンセプトに、デザインと機能性にこだわった総合見本帳「フル」を6月に発売し、販促活動に注力いたしました。しかしながら、オーダーカーテン需要が弱含みで推移したことにより、売上高は前年を下回る結果となりました。

これらの結果、プロダクト事業の売上高は13,611百万円(前年同期比9.5%増)、セグメント利益は711百万円(前年同期比1,155.2%増)となりました。

<インテリア卸及び工事事業>

インテリア卸及び工事事業では、各種インテリア関連商材の仕入れコストの上昇が続く中、販売価格への転嫁を進めつつ、お客様のニーズに合った商品提案に注力したことにより、国内では増収増益となりました。一方で、東璃(上海)貿易有限公司では、ゼロコロナ政策解除により事業環境の改善が期待されましたが、中国市場の本格的回復には至らず、同社の第1四半期(2023年1月～3月)売上高は前年を下回る結果となりました。

これらの結果、インテリア卸及び工事事業の売上高は14,516百万円(前年同期比6.7%増)、セグメント利益は160百万円(前年同期比115.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

<資産>

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ3,685百万円減少し、46,992百万円となりました。これは主に、売上債権の回収等に伴う受取手形及び売掛金の減少によるものです。固定資産は、前連結会計年度末に比べ656百万円増加し、34,769百万円となりました。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,029百万円減少し、81,761百万円となりました。

<負債>

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ3,925百万円減少し、27,801百万円となりました。これは主に、仕入債務の支払等に伴う支払手形及び買掛金の減少によるものです。固定負債は、前連結会計年度末に比べ541百万円増加し、12,710百万円となりました。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,383百万円減少し、40,512百万円となりました。

<純資産>

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ353百万円増加し、41,248百万円となりました。これは主に、株価上昇によりその他有価証券評価差額金が増加したためです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①業績予想の修正について

2024年3月期の第2四半期連結累計期間の業績につきましては、2022年9月に実施しました第3次価格改定が順調に浸透したことで売上高は前回発表予想を上回る見込みであります。また、利益につきましても、一部原材料の値上げが見込まれているものの、売上高の増加や製造原価低減効果により、前回発表予想を上回る見通しとなりました。

従いまして、当第1四半期決算に基づき、2023年5月9日に公表いたしました2024年3月期第2四半期（累計）連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

なお、足下から年度後半に向けたエネルギーコストの動向や原材料購買環境は予断を許さない状況が続いており、現時点での2024年3月期の通期連結業績予想は据え置くことといたします。

2024年3月期第2四半期（累計）連結業績予想の修正（2023年4月1日～2023年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	45,000	350	500	300	4.98
今回修正予想 (B)	45,500	700	800	500	8.31
増減額 (B-A)	500	350	300	200	—
増減率 (%)	1.1	100.0	60.0	66.7	—
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期第2 四半期累計)	42,754	△68	17	△67	△1.13

②配当予想の修正について

当社の株主配当につきましては、株主の皆様へ利益の還元をすることが最も重要な使命のひとつと認識し、配当性向30%以上、またはDOE1.5%以上を目安とする安定的な配当を継続的に実施していくことを基本方針としております。

上記の基本方針より、今回の業績予想修正に伴い、当中間配当予想を1株当たり2円から3円に1円増配し、年間配当金は合計11円（中間3円、期末8円）に修正いたします。

2024年3月期配当予想額の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (2023年5月9日発表)	円 銭 2.00	円 銭 8.00	円 銭 10.00
今回修正予想	3.00	8.00	11.00
前期実績（2023年3月期）	0.00	10.00	10.00

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,745	9,139
受取手形及び売掛金	20,287	15,940
電子記録債権	6,666	6,982
商品及び製品	8,978	9,367
仕掛品	1,780	2,024
原材料及び貯蔵品	2,284	2,157
その他	993	1,432
貸倒引当金	△58	△52
流動資産合計	50,677	46,992
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,077	7,056
機械装置及び運搬具（純額）	5,483	5,322
工具、器具及び備品（純額）	439	437
土地	8,343	8,345
建設仮勘定	1,587	2,032
その他（純額）	110	107
有形固定資産合計	23,042	23,301
無形固定資産		
ソフトウェア	698	617
その他	113	292
無形固定資産合計	811	909
投資その他の資産		
投資有価証券	5,200	5,966
繰延税金資産	792	329
その他	4,525	4,523
貸倒引当金	△260	△260
投資その他の資産合計	10,258	10,558
固定資産合計	34,113	34,769
資産合計	84,791	81,761

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,232	15,928
電子記録債務	6,066	6,377
短期借入金	1,020	520
未払法人税等	1,107	89
未払費用	1,677	1,566
賞与引当金	739	209
役員賞与引当金	9	—
その他	2,874	3,110
流動負債合計	31,726	27,801
固定負債		
長期借入金	5,680	6,180
退職給付に係る負債	3,762	3,809
その他	2,727	2,721
固定負債合計	12,169	12,710
負債合計	43,896	40,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,855	6,855
資本剰余金	6,426	6,426
利益剰余金	26,311	26,100
自己株式	△1,500	△1,500
株主資本合計	38,092	37,881
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,048	2,578
為替換算調整勘定	336	378
退職給付に係る調整累計額	136	132
その他の包括利益累計額合計	2,521	3,089
非支配株主持分	281	277
純資産合計	40,894	41,248
負債純資産合計	84,791	81,761

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	20,651	22,294
売上原価	14,977	15,742
売上総利益	5,674	6,551
販売費及び一般管理費	5,794	6,017
営業利益又は営業損失(△)	△120	534
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	79	84
仕入割引	19	19
保険配当金	43	45
その他	77	62
営業外収益合計	220	213
営業外費用		
支払利息	16	16
持分法による投資損失	110	73
その他	19	5
営業外費用合計	145	95
経常利益又は経常損失(△)	△45	651
特別利益		
投資有価証券売却益	6	—
特別利益合計	6	—
特別損失		
固定資産除却損	2	1
特別損失合計	2	1
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△41	650
法人税、住民税及び事業税	31	31
法人税等調整額	6	226
法人税等合計	37	257
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△79	392
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△11	1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△67	391

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△79	392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73	529
為替換算調整勘定	177	41
退職給付に係る調整額	△2	△3
その他の包括利益合計	101	567
四半期包括利益	22	960
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33	959
非支配株主に係る四半期包括利益	△11	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,106	13,545	20,651	—	20,651
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,327	55	5,383	△5,383	—
計	12,434	13,600	26,035	△5,383	20,651
セグメント利益	56	74	130	△176	△45

(注)1 セグメント利益の調整額 △176百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	プロダクト 事業	インテリア卸 及び工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,838	14,455	22,294	—	22,294
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,772	60	5,833	△5,833	—
計	13,611	14,516	28,127	△5,833	22,294
セグメント利益	711	160	871	△219	651

(注)1 セグメント利益の調整額 △219百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、東リインテリアサービス㈱(2023年4月1日より東リオフロケ㈱から商号変更)は、プロダクト事業セグメントに含めておりましたが、業態変更等に伴い、当第1四半期連結累計期間よりインテリア卸及び工事業セグメントに含めて開示しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、セグメント利益に対する影響が軽微であるため、変更後の区分に基づき作成していません。